



平成19年4月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成18年9月11日

上場会社名 株式会社 メガネスーパー

(コード番号: 3318 JQ)

(URL <http://www.meganesuper.co.jp>)

本社所在都道府県 神奈川県

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 田中由子

責任者役職・氏名 常務取締役 黒羽誠一

(TEL: (0465) 24-3611)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年4月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年5月1日～平成18年7月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (単位: 百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年4月期第1四半期	9,928	2.0	737	△9.5	679	△13.7	270	△27.7
18年4月期第1四半期	9,736	1.9	814	△31.1	787	△31.5	374	△32.3
(参考) 18年4月期	38,099		3,043		2,940		1,060	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年4月期第1四半期	19	63	—	—
18年4月期第1四半期	28	08	—	—
(参考) 18年4月期	77	73	—	—

(注) ①期中平均株式数(連結) 19年4月期第1四半期 13,787,671株 18年4月期第1四半期 13,338,820株
18年4月期 13,649,808株

②売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、前年同四半期に対する増減率であります。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等(平成18年5月1日～平成18年7月31日)]

当第1四半期における我が国の経済は、景気の緩やかな拡大に伴い企業収益は改善し、設備投資は増加、雇用情勢にも広がりが見られ、個人消費は緩やかに増加基調にあり、景況は改善傾向にあります。しかしながら、原油価格の急激な高騰から原料価格への転嫁による消費者物価への影響による個人消費の減速や、ゼロ金利解除による金利負担増に伴う企業収益への影響など景気の先行きに不安を残す状況にあります。

このような経済状況及び経営環境のもと、当社グループは「業界シェア10%を目指した基盤づくり」を長期経営目標としており、創業30周年を迎えた前連結会計年度からを“第二創業期”と位置づけ、テーマであります「顧客づくり」に取り組んでおります。

具体的には、当第1四半期におきまして「顧客づくり」を念頭に多様化する、個性化する顧客ニーズに応えて、①高付加価値商品の提案②格安セット商品の投入③ジュニア世代への施策としてキャラクターブランド商品を強化するなどの商品施策を展開しました。また、ロイヤルカスタマーを育成すべく、属性別に各種ダイレクトメールを配信するなど、レスポンス率の向上に結びました。更に、団塊世代を中心とした富裕層をターゲットにした展示会等へ出展し、高額商品や新商品などのPRを行い、既存店舗への誘致活動を図りました。若年層やネット世代層へは、ネット販売による新たな市場を開拓するため楽天市場・Yahoo!ショッピングに出店するなど、ネット販売事業を開始致しました。なお、前期から取り扱いを始めましたゲルマニウム関連商品(プチシルマ等)をメガネスーパー全店舗にて販売を開始致しました。

予算執行面におきましては、眼鏡等小売各社の競争激化や眼鏡等の販売伸張が伸び悩むなか、当社グループは費用対効果を重視した予算執行が行えるよう経費の投下効果の検討を実施し、経費の削減に努めております。例えば、折込広告の商圏分析を強化し、重複エリアの売上シェアアップを狙うとともに、細やかな部数チ

エックにより広告宣伝費の削減を実現しております。また、他経費におきましても、経営企画室、予算委員会を中心としたプロジェクトにより、厳しく予算執行の確認、経費の削減を実施し損益改善に寄与しております。

しかしながら、眼鏡等小売各社の競争激化、眼鏡等の販売伸張の鈍化、天候不順の影響を受け売上高において当初の計画を若干下回りました。また、金利の先行きが不透明なことから長期安定した低金利の設備資金（新規開設資金）等を確保するため、新規社債の発行やシンジケートローンを組成したこと、店舗効率を重視しスクラップアンドビルドを前倒しに実施したこともあり営業外費用（40百万円増）、特別損失（40百万円増）が計画を上回る結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高は9,928百万円、営業利益は737百万円、経常利益は679百万円、第1四半期純利益は270百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年4月期第1四半期	37,577	12,104	32.2	877 93
18年4月期第1四半期	37,338	11,416	30.6	827 86
(参考) 18年4月期	36,638	11,971	32.7	868 31

(注) 期末発行済株式数（連結）19年4月期第1四半期 13,787,661株 18年4月期第1四半期 13,790,880株
18年4月期 13,787,700株

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年4月期第1四半期	46	△671	1,304	3,654
18年4月期第1四半期	△259	△722	1,387	4,277
(参考) 18年4月期	1,398	△2,061	△234	2,975

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等（平成18年5月1日～平成18年7月31日）]

① 財政状態（連結）の変動状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ938百万円増加致しました。これは、主に社債発行等による現金及び預金の増加682百万円、新規開設店による有形固定資産の増加124百万円並びに敷金及び保証金の増加255百万円等によるものであります。また負債は、前連結会計年度末に比べ806百万円増加しております。これは、短期借入金及び長期借入金915百万円、社債が542百万円増加しましたが、前連結会計年度の法人税等の支払いに伴い未払法人税等が685百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における株主資本は、前連結会計年度に比べ132百万円増加致しました。これは、当第1四半期純利益270百万円が増加致しましたが、前連結会計年度の利益処分による株主配当の支出により137百万円減少したこと等によるものであります。

その結果自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.5%減少、32.2%となりました。また1株当たり純資産額は前連結会計年度末に比べ9円62銭増加、877円93銭となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ678百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には3,654百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、46百万円となりました。これは税金等調整前第1四半期純利益604百万円となりましたが、法人税等支払額に支出したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、671百万円となりました。これは店舗の新規開設等による有形固定資産の取得ならびに敷金及び保証金の支払による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,304百万円となりました。これは短期借入金、長期借入金及び社債の発行による収入が増加したこと等によるものであります。

3. 平成19年4月期の連結業績予想(平成18年5月1日～平成19年4月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	20,290	1,567	603
通期	40,354	2,815	1,163

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 84円35銭

[業績予想に関する定性的情報等(平成18年5月1日～平成19年4月30日)]

平成19年4月期の連結業績予想につきましては、引き続き眼鏡等小売各社の競争激化、眼鏡等の販売伸張の鈍化、自然災害の影響等も考えられ第2四半期以降も経営環境は厳しく不透明な状況が続くものと思われま。当社グループは競合他社との差別化を打ち出すべく施策や更なる新規顧客の獲得に向けたT S U T A Y Aとのポイントでの提携(平成18年10月下旬開始予定)等、更なる営業力強化に特化して参ります。また、経費におきましても引き続き削減に努め、売上高及び利益の確保に注力して行きます。なお、平成18年6月14日発表の中間期及び通期の連結業績予想の変更はありません。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年4月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成18年4月期 第1四半期末)		増 減		(参 考) 平成18年4月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金	3,704,365		4,314,568		△610,203		3,021,600	
2. 売掛金	1,028,060		1,167,041		△138,980		1,074,146	
3. 有価証券	23,018		—		23,018		23,069	
4. たな卸資産	4,434,600		4,097,147		337,452		4,331,763	
5. その他	1,138,172		847,117		291,055		1,276,977	
貸倒引当金	△23,141		△22,965		△176		△22,121	
流動資産合計	10,305,076	27.4	10,402,910	27.9	△97,833	△0.9	9,705,436	26.5
II 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物	4,682,024		4,557,388		124,636		4,564,612	
(2) 土地	7,256,381		7,937,245		△680,864		7,256,381	
(3) 建設仮勘定	630		38,661		△38,031		—	
(4) その他	1,573,848		1,547,383		26,465		1,567,325	
有形固定資産合計	13,512,884	36.0	14,080,678	37.7	△567,794	△4.0	13,388,319	36.5
2. 無形固定資産	260,898	0.7	268,270	0.7	△7,372	△2.7	247,770	0.7
3. 投資その他の資産								
(1) 敷金及び保証金	10,905,694		10,267,111		638,582		10,649,952	
(2) その他	2,624,213		2,364,187		260,025		2,682,327	
貸倒引当金	△82,814		△101,230		18,415		△82,835	
投資その他の資産合計	13,447,092	35.8	12,530,068	33.6	917,024	7.3	13,249,444	36.2
固定資産合計	27,220,875	72.5	26,879,017	72.0	341,857	1.3	26,885,534	73.4
III 繰延資産								
社債発行費	51,555		56,881		△5,326		47,823	
繰延資産合計	51,555	0.1	56,881	0.1	△5,326	△9.4	47,823	0.1
資産合計	37,577,506	100.0	37,338,809	100.0	238,697	0.6	36,638,795	100.0

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年4月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成18年4月期 第1四半期末)		増 減		(参 考) 平成18年4月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	4,782,216		5,104,862		△322,646		4,740,374	
2. 短期借入金	3,079,752		3,520,752		△441,000		2,412,552	
3. 未払法人税等	280,903		343,459		△62,556		966,260	
4. 未払費用	1,446,078		1,553,429		△107,351		1,647,123	
5. その他	3,099,416		1,744,436		1,354,979		1,816,290	
流動負債合計	12,688,366	33.8	12,266,941	32.8	421,424	3.4	11,582,601	31.6
II 固定負債								
1. 社債	3,450,000		3,395,000		55,000		3,987,500	
2. 長期借入金	3,982,342		4,942,594		△960,252		3,734,280	
3. 退職給付引当金	1,054,928		982,499		72,428		1,042,807	
4. 役員退職慰労引当金	1,473,713		1,483,313		△9,600		1,473,713	
5. 預り保証金	2,812,690		2,831,160		△18,470		2,832,490	
6. その他	10,911		20,374		△9,462		13,429	
固定負債合計	12,784,585	34.0	13,654,941	36.6	△870,356	△6.4	13,084,220	35.7
負債合計	25,472,951	67.8	25,921,882	69.4	△448,931	△1.7	24,666,822	67.3
(少数株主持分)								
少数株主持分	—	—	—	—	—	—	—	—
(資本の部)								
I 資本金	—	—	1,532,360	4.1	—	—	1,532,360	4.2
II 資本剰余金	—	—	1,467,880	3.9	—	—	1,467,880	4.0
III 利益剰余金	—	—	8,413,879	22.6	—	—	8,962,451	24.5
IV その他有価証券 評価差額金	—	—	7,441	0.0	—	—	15,092	0.0
V 自己株式	—	—	△4,634	0.0	—	—	△5,810	0.0
資本合計	—	—	11,416,926	30.6	—	—	11,971,973	32.7
負債、少数株主持分 及び資本合計	—	—	37,338,809	100.0	—	—	36,638,795	100.0
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金	1,532,360	4.1	—	—	—	—	—	—
2. 資本剰余金	1,467,880	3.9	—	—	—	—	—	—
3. 利益剰余金	9,095,211	24.2	—	—	—	—	—	—
4. 自己株式	△5,866	0.0	—	—	—	—	—	—
株主資本合計	12,089,584	32.2	—	—	—	—	—	—
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価 差額金	14,970	0.0	—	—	—	—	—	—
評価・換算差額等合計	14,970	0.0	—	—	—	—	—	—
III 少数株主持分	—	—	—	—	—	—	—	—
純資産合計	12,104,555	32.2	—	—	—	—	—	—
負債及び純資産合計	37,577,506	100.0	—	—	—	—	—	—

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年4月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成18年4月期 第1四半期)		増 減		(参 考) 平成18年4月期	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売上高	9,928,718	100.0	9,736,883	100.0	191,835	2.0	38,099,220	100.0
II 売上原価	2,763,135	27.8	2,659,566	27.3	103,568	3.9	10,382,898	27.3
売上総利益	7,165,582	72.2	7,077,316	72.7	88,266	1.2	27,716,322	72.7
III 販売費及び一般管理費	6,428,095	64.8	6,262,420	64.3	165,675	2.6	24,672,475	64.7
営業利益	737,487	7.4	814,896	8.4	△77,408	△9.5	3,043,846	8.0
IV 営業外収益	38,632	0.4	39,022	0.4	△390	△1.0	188,474	0.5
V 営業外費用	96,429	1.0	66,352	0.7	30,077	45.3	292,307	0.8
経常利益	679,689	6.8	787,566	8.1	△107,877	△13.7	2,940,013	7.7
VI 特別利益	11,700	0.1	39,550	0.4	△27,850	△70.4	86,902	0.2
VII 特別損失	87,071	0.8	56,237	0.6	30,834	54.8	847,582	2.2
税金等調整前 四半期(当期)純利益	604,318	6.1	770,879	7.9	△166,561	△21.6	2,179,333	5.7
法人税、住民税 及び事業税	147,847	1.5	240,404	2.5	△92,556	△38.5	1,487,772	3.9
法人税等調整額	185,834	1.9	155,982	1.6	29,852	19.1	△369,387	△1.0
四半期(当期)純利益	270,636	2.7	374,493	3.8	△103,856	△27.7	1,060,948	2.8

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

3. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期(自 平成18年5月1日 至 平成18年7月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年4月30日残高(千円)	1,532,360	1,467,880	8,962,451	△5,810	11,956,880
当四半期の変動額					
剰余金の配当	—	—	△137,877	—	△137,877
四半期純利益	—	—	270,636	—	270,636
自己株式の取得	—	—	—	△56	△56
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	—	—	—	—	—
当四半期の変動額合計(千円)	—	—	132,759	△56	132,703
平成18年7月31日残高(千円)	1,532,360	1,467,880	9,095,211	△5,866	12,089,584

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計		
平成18年4月30日残高(千円)	15,092	15,092	—	11,971,973
当四半期の変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△137,877
四半期純利益	—	—	—	270,636
自己株式の取得	—	—	—	△56
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	△121	△121	—	△121
当四半期の変動額合計(千円)	△121	△121	—	132,581
平成18年7月31日残高(千円)	14,970	14,970	—	12,104,555